

今月の イチオシ キャラクター紹介

会員企業様のキャラクターを紹介させていただくコーナーです。今後取材のご依頼をさせていただくことがあるかと思いますが、その際はぜひご協力よろしくお願いします。

1946年、戦後間もない日本に生まれ、洋酒ブームの火付け役となったサントリーウイスキー「トリス」。気軽に楽しめる本格ウイスキーとして長年人々に愛され続け、2016年には発売から70周年を迎えました。発売当初、「うまい、やすい、トリス」、「人間らしくやりたいナ」などの名キャッチコピーで話題を呼び、たちまち人気を得ました。そんなトリスのキャラクターとして1958年に誕生したのが、アンクルトリスです。「広告の主演には等身大の存在を」という思いから生まれました。高度経済成長当時の、一杯のウイスキーで一日の疲れを癒すサラリーマンの心情を代弁しています。今やテレビCMでもおなじみとなり大活躍中の彼を、トリスの歴史とともに取材してきました。

エントリーNo.11

サントリースピリッツ株式会社
アンクルトリス
SUNTORY



- *独身
- *若い頃からお酒といえばウイスキー
とりあえずハイボール
- *ちょっと小心者で、恥ずかしがり
少々偏屈でも、義理人情に厚くお人よし
- *座右の銘「フツー」
- *おいしいハイボールを作るのが好き
おいしいハイボールを飲むのはもっと好き

TORYS HISTORY

「トリスの歴史」

◆1946年 トリスウイスキー誕生◆

戦後間もない深刻なモノ不足だった頃。トリスウイスキーは「安くてもしっかりした品質のお酒を飲んでもらいたい」という想いから発売され、多くの人に愛されました。

◆1950年 トリスバー続々◆

高度経済成長期には、全国の盛り場にトリスバーが続々と出現。飲み方も冬はホット、夏はハイボールを提案し、ウイスキーはどんどん日本の生活に広まっていきました。

◆1958年 アンクルトリス誕生◆

◆2003年 四角い顔に◆

新しい世代にも親しんでいただけるよう、ボトルデザインを一新。「トリス<スクエア>」のスクエア瓶は、丸型が主流であった当時のウイスキーには珍しいものでした。

◆2010年 トリスハイボールブーム再燃◆

この頃、爽快で飲みやすく、食事にも合うハイボールが再び人気に。トリスもハイボールに合うすっきりとキレのよい味わいの「トリス<エクストラ>」に生まれ変わりました。そして、より気軽に楽しめるハイボール缶も登場。若者を中心に爆発的なヒットとなりました。



トリスハイボール
トリスならではのすっきり飲みやすいハイボールにレモン風味を加えた爽やかな味わいです。



**トリスハイボール
<キリッと濃いめ>**

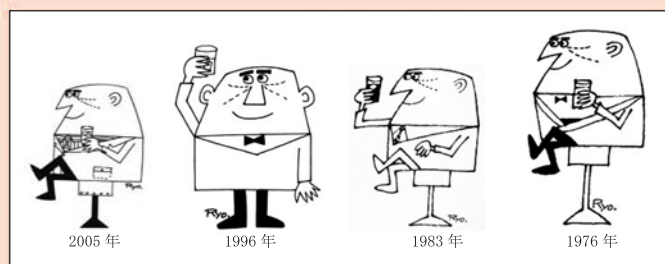
“トリスハイボール”の特長であるレモンが爽やかに香る“すっきりとしたキレのある味わい”とアルコール度数9%の飲みごたえを両立した定番商品です。



2015年

トリス<クラシック>登場

伝統を受け継ぎながら、時代に合わせた感性でブレンドされた「トリス<クラシック>」が2015年9月に登場。ハイボールはもちろん、より香りが楽しめるロックや食事にも合う水割りもおすすめです。本格ウイスキーをぜひご自宅でもお楽しみください。



時代とともにアンクルトリスも少しずつ変化しています。

取材にご協力いただき、ありがとうございました。

サントリースピリッツ株式会社
ウイスキー部
ウイスキーアンバサダー[サントリースピリッツ(株)認定]
高橋 健太様 (写真左)

トリスのCMは以前からよく目にしていたのでなじみ深かったのですが、アンクルトリスの名前やプロフィールは今回初めて知りました。“おいしいハイボールを飲みながら一日の疲れを癒すサラリーマン”という等身大の存在が、ウイスキーをより身近なものに感じさせてくれました。私も、トリス<クラシック>をロックや水割りなどいろいろな飲み方で楽しんでみようと思います。【取材：赤井 香菜 (写真右)】

